



はじめまして。
市民公益活動
パートナーズです

寄付は、身近な
ボランティア

福島で長期にわたる復興支援活動や地域再生に取り組むためには、皆さまのご理解とご支援が必要です。

「何かしたい、役に立ちたい」という思いを、私たちへの寄付に託していただけませんか。

おたがいさま新聞

津波被害・原発事故で浜通りから避難されている方々と
避難先となっている県北地方の人々をつなぐ情報紙

特定非営利活動法人

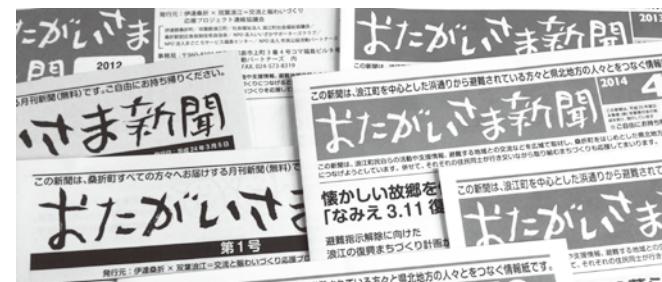
市民公益活動パートナーズ

なさ　ひと
情けは他人の為ならず、
巡り巡って我が身に返る
だって「おたがいさま」ですもの

東日本大震災と原発事故によって避難されている方々は、それまでのライフスタイルや暮らし方を変えなければならなくなりました。そうした方々同士をつなぎ、同時に避難受入地域の方々との交流を促しながら、同じ被災者として“おたがいさま”的心をもって互いに寄り添っていけることを願い、2011年11月からフリーペーパー『おたがいさま新聞』を月1回程度のペースで作り続けています。

しかし、被災直後にあちこちで創刊されたフリーペーパーは、被災地への関心が薄れ、財政的な支援が終了するにつれて、発行が中断されているのが現状です。

『おたがいさま新聞』をみんなで一緒につくり続けませんか。



被災地と避難者の「あした」を照らす 役割を果たしたい

福島県内では、何時になったら元の暮らしに戻れるのか、将来に向けた見通しが立たない状況にあります。放射線量に基づく地域区分の見直しや除染等、ふるさとへの帰還の取り組みがようやく始まったものの、一方では原発事故は一向に収束せず、「あした」への希望も挫けそうになっています。だからこそ、私たちはさまざまな人の心に寄り添うことのできる、息の長い支援活動を続けていきたいと思っています。

そのためにも、『おたがいさま新聞』の趣旨にご賛同いただき、継続発行への寄付や広告、情報のご提供など、皆さまからのお支援をお待ちしています。

おたがいさま新聞

津波被害・原発事故で浜通りから避難されている方々と
避難先となっている県北地方の人々をつなぐ情報紙

おたがいさま新聞のあゆみ

2014年
1月

新春特集
「新聞を支える協力団体」

2014年
8月～12月

連載
「浪江町出張所・町役場に聞く」

2013年
5月

配布エリアが県北全域に広がり、
紙面リニューアル
活動を伝える記事をアイコン付に

2012年
8月

連載
「浪江の笑顔」スタート

2012年
5月

配布エリアが福島市にも広がり、
紙面リニューアル
特集
「頑張るひと・励ますひと」スタート

2011年
11月

創刊準備号
桑折町内に配布開始



2011年
5月

伊達郡桑折町に、
桑折駅前仮設住宅完成

2011年
3月11日

東日本大震災及び原発事故 発災

これからも復興や被災者支援に取り組む人たちや支援情報を伝えます

活動へのご支援のお願い

寄付金は、いずれかの口座振込みまたは事務局でお受けしています

●郵便振替口座へのお振込みの場合

口座番号 02270-9-117981

「特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ」

●銀行口座へのお振込みの場合

東邦銀行 本店営業部

口座番号 普通 3672940

「トクヒ)シミンコウエキカツドウパートナーズ」

認定NPO法人取得のため、 3,000円以上のご寄付をお願いします

私たちは、今後、福島県及び周辺地域の復興支援活動や地域再生支援活動等へより効果的・安定的に取り組んでいくために、ご寄付くださる個人や企業にとって税制面の優遇が受けられる「認定NPO法人」を目指しています。

※認定基準である、パブリックサポートテスト絶対値基準(3,000円以上の寄付を年間100人以上)達成のため、3,000円以上のご寄付をお願いしています。

特定非営利活動法人

市民公益活動パートナーズ

〒960-8101 福島県福島市上町3番4号 コマ福島ビル1階9号

TEL.024-573-8310 FAX.024-573-8319

<http://partners-npo.jp/>
E-mail:info@partners-npo.jp

このパンフレットは国際NGOワールド・ビジョン・ジャパンと日本NPOセンターが行う「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」の支援を受けて作成しました。



はじめまして。 市民公益活動パートナーズです

私たちは福島県内だけではなく、隣り合う県や地域で活動する方々と地域を越えて支え合い、つながり合える、そんな市民社会の応援団を目指しています。

このため、行政の垣根を越えた広域の中間支援組織として活動するために、2011年2月に内閣府の認証を得て活動を始めました。その直後、3月11日に東日本大震災及び福島原発事故が発災したのです。

ちから 活動を支えてくださる皆さまの力が必要です

中間支援活動とは、住みやすく暮らしやすい地域社会を創るために、行政に頼るばかりではなく、市民が市民を支える仕組みづくりに向けて、地域の課題解決などの活動をするNPO(民間非営利組織)や地域団体を支援する活動です。

今、福島で必要とされているのは、復興に向けて一所懸命に取り組んでいる人を支える“人の力”です。皆さまの力で、私たちを応援してください。



皆さまからのご寄付は、このような活動に使わせていただきます

- 東日本大震災からの復興支援活動
- 『おたがいさま新聞』の継続発行
- 広域的な民間中間支援組織としてのNPOの後方支援など

さまざまな地域課題に
取り組む市民公益活動を
支え、共に動く



私たちといっしょに、
福島の復興支援活動を
支えてください



Yamagata
Miyagi
Fukushima

